

1. サービス概要

コンテンツキャッシュ(以下、本サービス)は、IDC フロンティアのクラウドサービスおよびデータセンターサービスをご利用のお客様に対して、大容量コンテンツを高速に配信可能なコンテンツキャッシュ機能をデータ転送量に応じた従量制サービスとしてご提供します。

本サービスのご利用により、キャンペーンやイベントなどアクセス増加時やゲームや画像などのコンテンツ大量配信が見込まれる場合などに、配信元となるお客様サーバーの負荷軽減やエンドユーザーに対するサービス品質向上を図ることができます。

- インターネットの出入口となる東西拠点に配置されたキャッシュサーバー環境
- 月間データ転送量に応じた従量制課金、契約期間や利用量などのコミットも不要
- シンプルかつすぐ始められる高負荷対策

※ 本サービスのご利用にあたっては、IDCF クラウドサービスのアカウント登録が必要となります。

2. サービス提供内容

2.1 サービスメニュー

本サービスには、以下のサービスメニューがあります。

タイプ	内容	ご契約単位
基本サービス	大容量コンテンツを高速に配信可能なコンテンツキャッシュ機能をデータ転送量に応じた従量制サービスとしてご提供します。	FQDN ^{*1}

*1: キャッシュサーバーの FQDN となります。

2.2 料金

項目	料金(税抜)	
データ転送料金 (従量制)	月間データ転送量 100TB(102,400GB) 以下	9 円/GB(月額)
	月間データ転送量 100TB(102,400GB) を超える利用分につき	6 円/GB(月額)

※キャッシュサーバーからの配信(OUT トラフィック)に対する料金となります。オリジンサーバーからのコンテンツ取得(IN トラフィック)に対する課金は無料となります。

※上記料金は、各 FQDN 単位での課金となります。

※日割計算は行いません。

2.3 サービス仕様

本サービスの基本仕様は以下のとおりです。

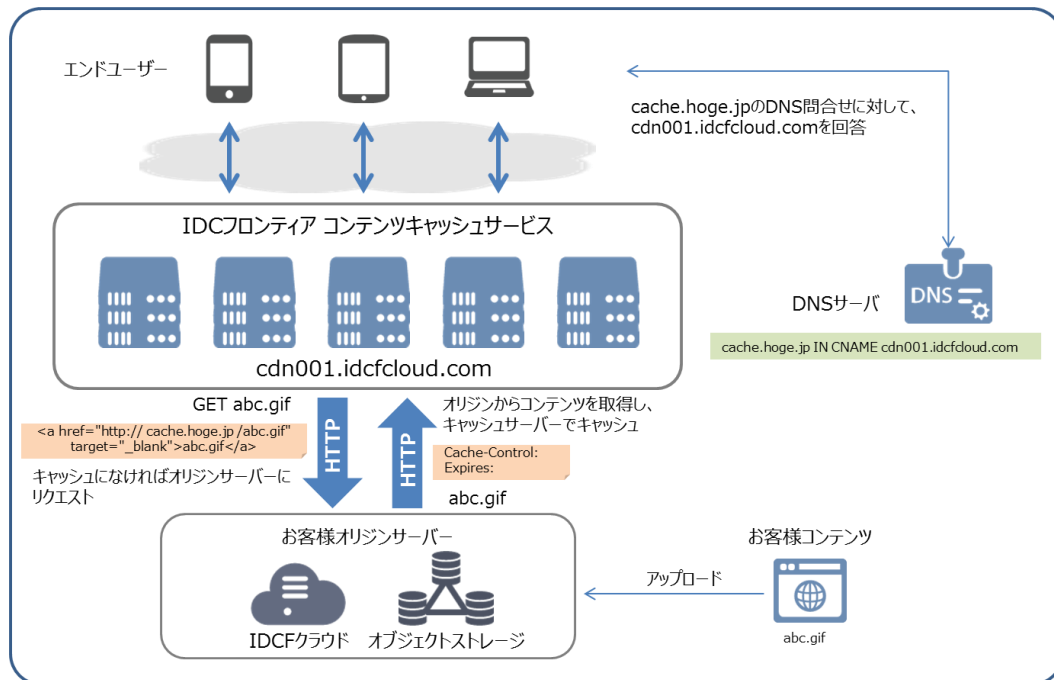
項目	内容
配信拠点	日本国内(東日本・西日本)
対応プロトコル	http/https ^{*1}
オリジンサーバー	制限なし
ファイル形式	制限なし
ファイルサイズ	最大 20GB まで
API	キャッシュ削除、ワンタイム URL 等

*1: 本サービスのドメイン名(cdn.jp.idcfcloud.com)に対する SSL 証明書、または TLS プロトコルの SNI(Server Name Indication) 拡張によるお客様独自ドメイン名の SSL 証明書のご利用が可能です。お客様独自ドメイン名 SSL 証明書は、お客様にてご用意いただきます。

※SNI(Server Name Indication)について: 最新のブラウザは、ほぼすべて SNI に対応していますが、一部の古いブラウザやアプリケーション独自のビューアなどでは、SNI をサポートしていない場合があります。SNI 非対応のブラウザでアクセスしたクライアントに対しては、警告メッセージが表示される場合があります。あらかじめご了承ください。

(参考) SNI 対応ブラウザ一覧: Wikipedia (https://ja.wikipedia.org/wiki/Server_Name_Indication)

ご利用イメージ



2.4 コントロールパネル

本サービスのコントロールパネルでは以下の機能を提供します。

項目	説明・提供条件
キャッシュサーバー	登録したキャッシュサーバーの一覧を表示します。各キャッシュサーバーを選択して、表示されるサブウィンドウにて以下の操作が可能です。
詳細	オリジンサーバー名、プロトコルの確認、ニックネームやコメントの編集ができます。
キャッシュ確認	キャッシュサーバー上にコンテンツが存在するかどうか、URIを指定して確認できます。
キャッシュ削除*2	キャッシュサーバー上のコンテンツの削除が必要な場合、URIを指定して削除できます。
サーバー証明書*3	独自ドメイン名の SSL 証明書による https 通信を行う場合、証明書をアップロードします。
有効化/無効化	キャッシュサーバーの一時的な無効化/有効化*4を行います。
削除	登録したキャッシュサーバーを削除します。
ワンタイム URL	ワンタイム URL 機能を利用するかどうかを設定できます。
トラフィックサマリー	キャッシュサーバーの FQDN 毎に月間の総転送量、平均帯域、総リクエスト件数、キャッシュヒット率を一覧で表示します。
レポート	キャッシュサーバーの FQDN 毎に対象期間*1における帯域、転送量、総転送量、リクエスト件数、キャッシュヒット率の推移をグラフ表示します。
ログエクスポート	キャッシュドメイン毎にアクセスログをエクスポートすることができます。*5

*1: ログレポートの閲覧期間は FQDN 毎に最長 2 年間となります。

*2: 即時に削除されるのではなく、指定したコンテンツへのキャッシュヒットがあった場合、キャッシュされたコンテンツを削除してオリジンサーバーから新しいコンテンツの再取得を行います。

*3: SSL 証明書はお客様にてご用意頂きます。ただし、利用できる SSL 証明書は、当社が指定する条件を満たすものに限ります。

*4: キャッシュサーバーの新規登録時に、キャッシュサーバーを有効化する日時を 1 カ月先までスケジュール指定することができます。

*5: 本機能は 2019 年 3 月 27 日より、お客様からのご依頼に従って弊社がログエクスポートを実施後、お客様に送付する仕様に変更予定です。

※記載している料金はすべて税抜価格になります

IDC FRONTIER SPECIFICATION SHEET

使用可能な SSL 証明書の条件

本サービスで使用できる独自ドメイン名 SSL 証明書は、次の条件を満たしている必要があります。

仕様・条件	
	<ul style="list-style-type: none">・ 1つの証明書を複数のサーバーに設置可能なタイプの証明書であること・ X.509 PEM 形式で作成されていること・ 認証局のルート証明書および証明書チェーン内の全ての中間証明書を含むこと・ パブリック認証局が発行する証明書であること(プライベート認証局の自己署名証明書は使用不可)・ 有効期限の管理、証明書の設置・更新は、お客様の責任において行っていただくこと

※上記のほか、本サービスの提供上、支障が生じる可能性がある当社が判断した場合、ご利用を制限または停止させていただく場合があります。

ワнтаイム URL 機能

本サービスでは、ユニークかつ一定期間のみ利用可能な特殊な URL を発行することで、有償コンテンツや権利保護コンテンツなどを特定のユーザーや期間に限定して配信する用途として利用することができます。

項目	内容
設定対象	FQDN 単位 ^{*1}
対応プロトコル	http のみ
有効期限	1 秒～604,800 秒(7 日間)
利用方法	コントロールパネルまたは API による利用が可能

*1: ワнтаイム URL を「利用する」に設定したキャッシュサーバーは、ワнтаイム URL を使用してのみアクセス可能となり、元の URL を使用してアクセスすることはできません。また、ワнтаイム URL を「利用する」に設定できるのはキャッシュサーバーの新規登録時のみで、設定後に「利用しない」に変更することはできません。

ログエクスポート機能

本サービスでは、アクセスログをエクスポートできるため、ユーザーのアクセス状況等の詳細分析などに利用することができます。

項目	内容
ログ保存期間	1ヵ月
エクスポート可能な期間	1時間(1回のエクスポートで指定可能な期間)
取得単位	ドメイン(同時に取得可能なドメイン数は5つ)
出力形式	CSV, TSV

※アクセスログの出力先としてオブジェクトストレージを利用します。あらかじめオブジェクトストレージ(別契約)のお申し込みが必要です。※本機能は 2019 年 3 月 27 日より、お客様からのご依頼に従って弊社がログエクスポートを実施後、お客様に送付する仕様に変更予定です。

マルチユーザー権限

本サービスでは、IDCF クラウドサービスのアカウント毎のユーザー権限によって、操作できる範囲が異なります。各ユーザー権限の利用範囲は以下の通りです。

項目	内容
マスターユーザー	すべての操作が可能です。
パワーユーザー ユーザー	申し込み以外のすべての操作が可能
ビリングユーザー	コンテンツキャッシュコントロールパネルはご利用になれません。

2.5 API

キャッシュ削除、ワнтаイム URL 発行や設定情報の取得をコントロールパネルを経由せずに、外部プログラムから API 経由で行えます。

API リファレンス : http://www.idcf.jp/help/cache/docs/pdf/cache_api.pdf

3. サービスご利用条件

3.1 カスタマーサポート

本サービスのサポート窓口は以下のとおりです。

項目	媒体	受付時間	対応時間
サービス問い合わせ*1	電話	-	-
	プレミアムサポート*3	平日 9:00 -17:00	平日 9:00 -17:00
	メール	-	-
	オンラインサポート	24 時間 365 日	平日 9:00 -17:00
障害連絡受付 及びその対応*2	電話	-	-
	プレミアムサポート*3	平日 9:00 -17:00	平日 9:00 -17:00
	メール	-	-
	オンラインサポート	24 時間 365 日	24 時間 365 日*4

*1: サービス問い合わせに関しましては、土日・祝日、当社所定の休業日を除きます。

*2: 当社が障害を検出した場合は、指定された連絡先にメール、電話、当社所定のポータルサイトのいずれかで通知を行います。

*3: IDC Frontier クラウドサービス「プレミアムサポート」(別途有償)をご契約の場合、標準サポートに加え、電話でのお問い合わせができます。電話によるお問い合わせはアカウント毎に発行された PIN コードを用い、本人確認を行います。

*4: 当社がお客様に影響を及ぼさない事象と判断した場合を除きます。

※お問い合わせや障害連絡受付の応答時間および解決時間は、当該事象のセビリティ(深刻度)等に応じて異なる場合があります。また、当社は当該事象の解決のために商業的に妥当と思われる努力を行いますが、あらかじめ特定の時間内に完了することを保証するものではありません。

4. 契約条件

4.1 サービスご利用条件

本サービスは、以下の契約書類に定めるご利用条件に従い、お客様に提供されます。

契約名	契約書類
本サービス利用契約	「クラウドサービスに関する契約約款」及び当社が定める各種規程、その他本サービスの申し込み画面に記載の内容にご同意いただくこと。

4.2 契約期間・最低利用期間

- 本サービスの利用契約は、期限の定めはなく、「4.3 解約」に従って本サービスの利用契約を終了させることができます。
- 本サービスについて最低利用期間はありません。

4.3 解約

- 本サービスのみの利用契約を単体で解約することはできません。本サービスの利用契約を終了したいときは、会員契約の解約(アカウントの廃止)と同時に解約することによって本サービスの利用契約を終了できます。
- 上記の本サービスの利用契約の解約は、「クラウドサービスに関する契約約款」の「クラウドサービスに関する会員規程」第 16 条に記載の方法により解約できます。
- キャッシュサーバーをすべて削除またはお客様の設定によりキャッシュサーバーからの配信を停止することにより以降のデータ転送料が発生しなくなりますので、この場合において、会員契約を終了せずに(アカウント廃止をせずに)、本サービスの利用契約が終了したのと同じ状態にすることができます。

4.4 SLA (Service Level Agreement : 品質保証制度)

当社は、本サービスについて、サービス品質目標(SLO)を以下のとおり定め、商業的に合理的な努力をします。

月間平均稼働率	99.99 %
---------	---------

4.4.1 品質保証

本サービスについて、サービス品質保証(SLA)を以下のとおり定め、保証します

月間平均稼働率	99.9 %
---------	--------

本 SLA は、1 ヶ月の使用可能期間^{※1}において、本サービスが正常に利用できる時間割合を 100%とし、月間平均エラー率^{※2}を差し引いて得られる月間平均稼働率^{※3}が 99.9%以上であることを保証します。

※1:1 ヶ月の使用可能期間とは、当該利用期間における 1 日から月末までをいいます。

※2:月間平均エラー率とは、1 ヶ月の使用可能期間における 5 分毎のエラー率^{※4}を合計し、1 ヶ月の使用可能期間における 5 分単位の時間総数^{※5}で除した値を月間平均エラー率といいます。

$$\text{月間平均エラー率} = \frac{\text{1 ヶ月の使用可能期間における 5 分毎のエラー率の合計値}}{\text{1 ヶ月の使用可能期間における 5 分単位の時間総数}}$$

※3: 月間平均稼働率とは、以下の計算式に基づき算定される割合をいいます。

$$\text{月間平均稼働率(\%)} = (1 - \text{月間平均エラー率}) \times 100$$

※4: 5 分毎のエラー率とは、5 分毎に、総エラーリクエスト^{※6}数を、5 分毎の総リクエスト数で除した値(値は 0 から 1 の間をとり、リクエストがない場合は 0)をいいます。

$$\text{5 分毎のエラー率} = \frac{\text{5 分毎の総エラーリクエスト数}}{\text{5 分毎の総リクエスト数}}$$

※5: ここに 5 分単位の時間総数とは、1 ヶ月の時間を 5 分単位で割った総数をいいます。30 日の月の場合、30 日 × 24 時間 × 60 分 ÷ 5 分 = 8,640 となり、31 日の月の場合は 31 日 × 24 時間 × 60 分 ÷ 5 分 = 8,928 となります。

※6: エラーリクエストとは、内部エラー(HTTP Status 500 番台)を指します。ただし、例外事項^{※7}に基づく場合については、エラーリクエストに含めないものとします。

※7: 例外事項とは、以下の各号のいずれかを指します。

- ①計画メンテナンス(当社が 5 営業日前までに事前通知を行った上で実施されるもの)の場合
- ②ネットワーク上の経路不達の場合
- ③お客様および認定利用者の行為に起因して、またはその責めに帰すべき事由によりエラーが生じている場合
- ④上記の他、当社の責めに帰すべき事由によらずしてエラーが生じている場合

4.4.2 減額基準

上記の品質保証を満たさなかった場合、月間平均稼働率の以下の範囲に応じて、コンテンツキャッシュ利用料の減額を行います。

月間平均稼働率	99.0%以上 99.9%未満	コンテンツキャッシュ利用料の 10%
	99.0%未満	コンテンツキャッシュ利用料の 25%

4.4.3 減額方法

お客様は減額申請を希望される場合には、該当するトラブルチケット番号に基づいて当社所定の申請書およびお客様にて取得された当該エラーログを当社に提出いただく必要があります。当社は申請内容を確認し、申告内容について適当と認めた場合には、原則として減額対象となった月の翌月分のお客様に対して請求する月額費用から減額を実施いたします。ただし、障害発生の時期や契約状況によっては翌月以降に実施される場合があります。

減額申請の提出期限は、その事由が生じた日から 14 日以内に行っていただく必要があります。期間内にお客様から当社所定の申請書および当該エラーログの提出がない限り、減額を行うことはありません。

4.5 料金および支払方法

- 本サービスに係るサービス料金(GB 単価)は、料金表に定めるとおりとします。
- コンテンツキャッシュ利用料は、データ転送量に応じた従量課金となります。料金は下記により算出したデータ転送量の値に、所定のサービス料金(GB 単価)を乗じて得られる額(1 円未満切り捨て)とします。

データ転送量の算出方法

各 FQDN のデータ転送量(OUTトラフィック)を、1カ月の使用可能期間^{*1}を通じて集計(ギガバイト単位、小数点以下切り上げ)

^{*1}: 1カ月の使用可能期間とは、当該利用期間(暦月)における1日から月末までをいいます。

- 本サービスに係る料金支払方法は、クラウドポータルアカウント作成時にご登録頂いた方法に従います。

4.6 支払遅延によるサービス停止

- 毎月のサービス料金のお支払いが確認できない場合はアカウントステータスが自動で変更され、本サービス利用に関する以下の制限が行われます。

アカウントステータスによるサービス利用制限

サービス機能	アカウントステータス ^{*1}			
	Active (利用中)	Restrict (支払遅延)	Suspend (利用停止)	Terminated (契約解除)
既存キャッシュサーバーのコンテンツ配信	○	○	-	-
新規キャッシュサーバーの追加	○	-	-	-
キャッシュ確認/キャッシュ削除	○	○	-	-
レポート画面の閲覧	○	○	-	-
API の利用	○	○	-	-

○: 可能、-: 提供不可

^{*1}: アカウントステータスの詳細については、IDCF クラウドサービス仕様 (<https://www.idcf.jp/cloud/spec/billing.html>)をご確認ください。

4.7 ご利用上の制限、及び注意事項

「クラウドサービスに関する契約約款」に定めるほか、本サービスに関して、以下の制限事項及び注意事項があります。

- 本サービスにおいて、お客様が使用するドメイン名もしくは SSL 証明書は、お客様自身が取得・保有するものか、又は正当な使用許諾を受けたものでなければなりません。また、本サービスにおいてお客様が使用する SSL 証明書の管理(有効期限の管理、更新)、セキュリティ及び当該 SSL 証明書の利用規程・ライセンス条件等の遵守に関して、お客様が単独の責任を負うものとし、当社は一切責任を負いません。
- 本サービスの設備等のメンテナンス実施により、一時的にサービスを停止する場合があります。サービス停止を伴うメンテナンス実施が必要となった場合は、作業実施の1週間前までに事前に通知致します。ただし、緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。
- 本サービスの運営上または技術上の理由により、当社が必要と判断した場合には、本サービスの提供を中止または中断ができるものとします。
- 本サービスで定めるログの提供はベストエフォートで行われ、完全性や即時性を保証するものではありません。

4.8 免責事項

サービス契約約款に定める免責事項のほか、本サービスに関して、以下の免責事項があります。

- 当社は、本サービスについて、お客様が意図する特定利用目的への適合性、有用性等に関し、いかなる保証責任も負いません。
- 当社は、本サービスの利用によって生じたお客様または第三者の損害に対して、いかなる責任も負わないものとしてします。